

2023年度 10月（第4回）理事会議事録

日 時：2023年10月11日(水) 19:00～20:20
会場：ナースプラザ福岡 2F 203 研修室
出席者：会 長 外山洋子 副 会 長 倉重康彦、緒方昌倫、大久保文彦 総務局長 池上新一 運営理事 生田幹博、木村賢司、加藤康男、田代恭子、嶋田裕史 佐藤謙一、新田誠、佐藤 房枝、野田哲寛、浦園真司 理 事 吉田重人、多田利治、樋口雄哉、石川雄太 監 事 小山宣輝、北里謙二 書 記 高木奈穂、市丸加奈子、 事 務 局 金子千代美
欠席者：運営理事 牟田正一 理 事 西野達士

【議 事】司会 総務局長 池上 新一

◇議題

- | | |
|--------------------------|--------|
| 1. 福岡県医学検査学会ガイドライン改訂について | 大久保副会長 |
| 2. 中間監査報告（財務管理部長報 | 北里監事 |
| 3. 日臨技報告 | 倉重副会長 |
| 4. 健康21世紀福岡県大会報告について | 緒方副会長 |
| 5. 全国「検査と健康展」について | 浦園地区長 |
| 6. タスクシフト研修会について | 木村運営理事 |
| 7. 各部報告 | |
| 8. 各地区報告 | |
| 9. その他 | |

◇会長挨拶（外山会長）

コロナウィルス感染症は落ち着きをみせてきましたが、インフルエンザが流行って来たようです。もうしばらくは感染症との闘いが続きそうです。研修会は活発になってきているようですので、それぞれの施設に応じた感染対策を遵守し、開催頂ければと思います。本日もたくさんの議題がありますので活発なご意見をお願いいたします。

1. 福岡県医学検査学会ガイドライン改訂について

大久保副会長

理事の皆様には10月5日にガイドライン改定案を送っている。今理事会で承認を得たい。改定内容としては、赤字で示している部分で、曖昧な表現を明確化、運営費に於いて「小型の展示を可能とする」を盛り込んだ。ランチョンセミナーも会場費、食事代をわけて記載した。講師、座長に対する謝礼を明確化した。学会開催から終了報告までの一連の流れを整備し記載した。反対意見なく承認された。

2. 日臨技報告

倉重副会長

大量の資料ですので抜粋して報告。

地域生涯教育推進研修会の執行率が福岡県は低いので活用をお願いします。

臨地実習指導者講習会の開催状況ですが、福岡県はまったく受講されていない施設が9施設あります。病院名や受講者数などが公表されている。

9月に認知症予防啓発活動が各県技師会にて行われた。

検体採取に関する厚生省指定講習会の実施状況報告。

タスクシフトシェアに関する厚生労働大臣指定講習会の実施状況報告。

政策涉外関連機構における現状把握のための調査協力施設の選定。昨年からは始まった事業で、県単位で4つの施設を選定し、情報収集を行う。保険収載の申請につながる活動。次世代人材育成プロジェクトより、未来構想ワーキンググループが発足。若手を中心で構成されており、議論された未来構想が報告されている。

日臨技 HP の会員専用ページのレイアウトが変更されている。

全国「検査と健康展」開催状況報告。

正会員数の動向報告。8月31日現在で7万人を突破。

支部学会開催状況報告。九州は佐賀→鹿児島→長崎

研修会の会費を決算ペイにて徴収する運用が始まっている。関東関西圏では普及している。

全国学会前日にスキルアップセミナーを開催しているが、参加者数の減少がある。通常は13時からの現地開催だが、平成6年度はまずオンデマンド開催後に15時より現地開催を行う。

平成6年度の臨床検査に関する診療報酬点数改訂に関する要望書が作製されており、今後中医協に提出される。

インボイス制度の概要。講師が課税事業者の場合と免税事業者では消費税の扱いが変わる。負担金の免除が受けられる現状が2030年度には廃止され、実績から約280万円の消費税支払いが予想されている。

3. 健康21世紀福岡県大会報告について

緒方副会長

10月1日イオンモール福岡にて開催。福岡地区より9名の技師にて対応した。技師会ブースでは血管年齢と酸素飽和度の測定を行った。ブースには203名が訪れられた。

4. 全国「検査と健康展」について 浦園地区長
会場レイアウトや役割分担表等を資料として提示。11月11日にゆめタウン飯塚にて開催予定。先日、保健所に診療所の開設手続きを会長名にて提出していたが、問題なく受理されている。

5. タスクシフト研修会について 木村運営理事
10月8日の講習会参加者は58名、県外からは計6名が参加。福岡の受講修了者は814名となった。今後は受講者が少なくなる見込み。今年度のWEB受講修了者は58名しかない。この人数が100名は超えないと開催しても定員割れとなる可能性が高い。

6. 各部報告

●管理・運営（生田）

発送文書等については資料をご確認ください。10月28日の厚生労働大臣表彰祝賀会に参加いただける理事の方々は10時30分に集合願います。

●財務管理部長（田代）

提示した資料に沿って9月の会計報告。

北里監事より中間監査報告。関係書類、帳簿等確認したが適正に運用されている。予算作成のフローチャートを提示。新たな企画に対して予算化が必要となる。可能なら見積書、大まかな概算等を11月の理事会までに提出を。財務の方で起訴案を組み12月の予算委員会に提出。予備の予算委員会を1月とし、2月に理事会で予算案承認、3月の会誌ふくおかに予算案を掲載したい。（西浦参与から助言あり）

●学術部長（佐藤）

研修会開催状況については提示資料参照ください。活発に行われています。

第32回福岡県医学検査学会の優秀演題の審査ですが、前回の理事会にて審査演題の追加が承認されている。これも含め、記録した動画の編集に時間を要しており、審査が進んでいないので、急ぎ編集している。

●精度管理（代理 大久保副会長）

精度管理事業は生化学を中心に行われてきている。これからは、生化学以外にも範囲を広げて精度管理事業を行うべきではないか。そのためには各分野から委員を選出しワーキンググループを発足させたいので承認を得たい。次年度の予算計上も見据え承認となった。今年度にワーキンググループの会合を設けることも承認された。

●広報・情報管理（嶋田）

「会誌ふくおか」の3号の初稿が仕上がってきている。修正があれば赤字で添削をお願いする。印刷はカラーだがモノクロだと約10万円安価となる。予算的にはオーバーしているので、予算内だと考えるのであればどちらで印刷するのも検討する必要がある。学術関連でHPの更新をしたい。県学会での優秀演題など幅広く受賞を掲載していきたいので承認いただきたい。問題なく承認となった。

来年度に向けてライン部会を設立したく、企画趣意書を提出し承認を得たい。予算としては資料の通りで60万ほどがかかってくる。予算を考えると、広報事業にばかり予算を掛けることもできないので、「会誌ふくおか」を年1回の発行にすれば50万ほどが昨

年できることとなる。(西浦参与より助言あり) ライン部会の発足とラインの造り込みが同時進行となる。ライン部会の設立は承認された。次年度に予算にライン構築分は計上し、「会誌ふくおか」発行については継続審議していく事となった。

●企画運営 (木村)

ニューリーダー研修を2月10日のお昼から博多駅近くにて行いたいので、理事の皆さんは予定をお願いします。来月には広報いたします。

●公益事業部長 (加藤)

「第44回福岡市民糖尿病教室」ですが、福岡地区の理事の方々に実務委員の派遣をお願いしている。コロナ禍で更新のための点数が満たせていない糖尿病療養指導士方々を中心に募集したい。

2024年4月開催予定の「福岡県医学検査デー」に向けての準備を進めていきます。

7. 各地区報告

●福岡地区 (新田)

資料に沿った、会議報告。

福岡地区新人研修会を10月3日、4日の両日で開催した。

10月16日の福岡市急患部会懇談会に参加予定。

第32回福岡県医学検査学会の予算をまとめているので、次回決算報告致します。

●北九州地区 (佐藤(房))

資料に沿った会議、研修会報告。

11月4日(土)に第45回臨床検査ゼミナールを開催予定。

●筑後地区 (野田)

9月26日に中期講演会を開催したが、講師の都合でWEBを中心とした講演会に変更となった。

12月2日(土)に後期講演会と忘年会を開催予定。

●筑豊地区 (浦園)

第33回福岡県医学検査学会の開場見積もりが出ています。5年前の学会とほぼ同額を提示された。

資料に沿った会議、研修会報告。

9月29日に青年部主催親睦ボーリング大会を開催した。

8. その他

外山会長

○倉重副会長から報告があった日臨技補助の研修会ですが、福岡は利用が少ないので、積極的に申請するように進めていただきたい。

○日臨技の会長選挙が公示されますが、元副会長の横地常広氏が立候補されるようです。